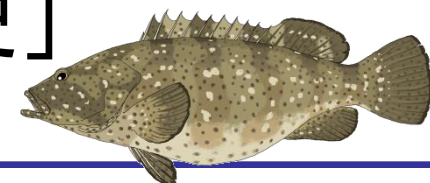




さかなのおはなし

第27回(最終回):魚の「生活史」



2017年4月1日 発行

平成24年から発行を続けてきた「さかなのおはなし」ですが、今号をもって終了することになりました。最終回は、主要なイノーの魚について、研究により分かってきた成長や成熟のデータを紹介します。

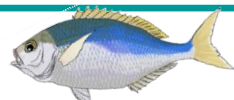
魚の成長と成熟

① 最大体長・最高齢 ② 雌の50%成熟体長・年齢 (※については、最小成熟体長・年齢) ③ 性転換体長・年齢 ④ 産卵期

体長制限や、禁漁期などの資源管理を実施するには、魚が何年で何センチに成長し、何センチくらいから産卵するようになるか、また、どの時期に卵を産むか、といった「生活史」の情報が必要になります。今回は、主要なイノーイユについて、生活史の概要を紹介します。

 あかじん (スジアラ) ① 71 cm・19歳 ② 43 cm・5歳 ③ 60 cm・10歳 ④ 5,6月 ・Ebisawa (2013)	 まくぶ (シロクラベラ) ① 72 cm・15歳 ② ※24 cm・※2歳 ③ 55 cm・5歳 ④ 1~4月 ・Akita et al.(2017) ・平井ら (2015) ・Ebisawa et al. (1995)	 たまん (ハマフエキ) ① 62 cm・26歳 ② 43 cm・4歳 ③ 幼時に性が分化 ④ 3~6月 ・Ebisawa (1990) ・Ebisawa&Ozawa (2009)	 げんなー (ナンヨウブダイ) ① 60 cm・17歳 ② 29 cm・3歳 ③ 40 cm・5歳 ④ 5,6月 ・Ebisawa et al. (2016b)	 あーがい (ヒブダイ) ① 62 cm・14歳 ② 30 cm・1歳以上 ③ 45 cm・7歳 ④ 5,6月 ・Ebisawa et al. (2016a)	 くちなぎ (イソフエキ) ① 37 cm・22歳 ② 20~22 cm・2~3歳 ③ 幼時に性が分化 ④ 3~6月 ・Ebisawa (1999) ・Ebisawa&Ozawa (2009)	 ぼーらー (キツネブダイ) ① 58 cm・17歳 ② 39 cm・7歳 ③ 60 cm・10歳 ④ 4~9月 ・秋田 (未発表)
 ぐるくん (タカサゴ) ① 28 cm・15歳 ② 14 cm・1歳 ③ 雌雄異体 ④ 5~7月 ・佐久本 (2013MS)	 さっこーみーばい (ナミハタ) ① 39 cm・17歳 ② ※19 cm・3歳 ③ 26 cm・7歳 ④ 4,5月 ・Ohta & Ebisawa (2016)	 かたかし (コバンヒメジ) ① 41 cm・6歳 ② 20 cm・1歳 ③ 雌雄異体 ④ 4~12月 ・鮫島 (2012MS)	 みみじゃー (ヒメフエダイ) ① 39 cm・24歳 ② 不明 ③ 雌雄異体 ④ 5~10月 ・Nanami et al. (2010)	 ゆだやー (マダラハタ) ① 62 cm・26歳 ② 35 cm・6歳 ③ 不明 ④ 4,5月 ・太田 (未発表)	 びたろー (ニセクロホシフエダイ) ① 35 cm・23歳 ② ※21cm・3歳 ③ 雌雄異体 ④ 4~8月 ・Shimose&Nanami (2015)	 ちぬまん (テングハギ) ① 52 cm・27歳 ② 解析中 ③ 解析中 ④ 解析中 ・太田 (未発表)

サンゴ礁の魚たちは、意外と長生きではないでしょうか？ここには挙げていませんが、うるあかなー(ゴマフエダイ)では**54歳**、あかなー(バラフエダイ)ではなんと**79歳**の個体が出現しました。また、サンゴ礁の魚には、雌から雄へ性転換する種が多く知られており、こういった種では、大型で高齢の個体に雄が多いので、漁業で大型の個体ばかりが狙われると、雌雄の割合が崩れ、産卵に悪影響を及ぼすことが懸念されています。また雌では、大型個体ほどたくさん卵を産めるので、漁獲の影響で大型個体がいなくなってしまうと、資源の安定性が低下すると言われています。



◎ 沖縄県水産海洋技術センター石垣支所 石垣市字川平828-2 電話:0980-88-2255(担当:秋田)

←バックナンバーが見られます! <http://www.pref.okinawa.jp/fish/sakana-hanashi/index.html>